


歯科・口腔外科の先生方へ

- 患者さんは骨粗鬆症や骨ペーজেット病の治療としてビスホスホネート(BP)系薬剤であるアクトネル錠を服用しています。
- 本剤は、長期に服用し続ける必要があります。



重要

アクトネル錠はビスホスホネート系薬剤です。当カードは、歯科・口腔外科の先生方へアクトネル錠の服用の情報を提供し、処方された薬剤の情報を伝えるためのものです。

歯科・口腔外科の先生方へ 下記のご対応をお願いします


- 顎骨壊死・顎骨髄炎があらわれることがありますので、拔牙等の侵襲的歯科処置はできるだけ避けてください。
- 侵襲的歯科処置が必要な場合は、本剤を処方された医師にご相談ください(連絡先は中面にございます)。
- 顎骨壊死を防ぐ最善の方法は、口腔内を清潔に保つことと、歯科検診などを含めた定期的な口腔ケアであるとされていることを患者さんに十分ご説明ください。

Eisai エーザイ株式会社 ACL0241BKA
2010年10月作成


歯医者さんで診察を受ける場合は、このカードを歯医者さんにご提示ください。

骨のおくすり
アクトネル錠 2.5mg
錠 17.5mg
を服用しています

監修: 京都大学医学部 口腔外科 教授 別所 和久



骨のおくすりアクトネルを服用の方へ



アクトネルは、骨粗鬆症や骨ペーজেット病で骨折しやすくなっている骨を、強く丈夫にするおくすりです。

●ご注意いただきたいこと

服用開始前

- 医師と相談の上、必要に応じて拔牙などの歯科治療は服用を始める前に済ませてください。

服用中


- 歯科検診に行くなど口腔内を定期的にチェックしてください。
- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください。
- 拔牙などの治療はできるだけ受けないようにしてください。
- 歯科を受診するときは、アクトネルを服用していることを歯科医師にお伝えください。

ご自分の判断で服用を中止せず、医師にご相談ください

服薬開始日: 年 月 日

連絡先

▼下の音声コードには、投与済みの歯の音声情報の記録されています。



武田薬品工業株式会社「ベネット錠」

ベネット錠 を服用中もしくは服用したことのある患者さんへ

歯科医・口腔外科医を受診される場合は、このカードを先生にご提示ください。

※お薬の服用を中断、終了された後も、大切に持ちください。

ベネット錠をのみはじめた日

年 月 日

ベネット錠の服用を中断、終了された方

年 月 日

まで服用

病医院・薬局名

武田薬品工業株式会社 (1-1-7470)

ベネット錠をこれから服用される患者さん

医師と相談の上、必要に応じて拔牙などの歯科治療は服用を始める前に済ませてください。

ベネット錠を服用中の患者さん

- 歯科検診に行くなど口腔内を定期的にチェックしてください
- 拔牙などの治療はできるだけ受けないようにしてください
- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください

! ベネット錠を服用中もしくは服用したことがあって、下記のような症状があらわれた場合、先生にご相談ください。

- あごの痛みやしびれ・だるさ
- 歯ぐきのはれ
- 歯のぐらつき など

歯科・口腔外科の先生方へ

患者さんはビスホスホネート系薬剤「ベネット錠」を服用中または服用されたことがあります。

- 顎骨壊死・顎骨髄炎があらわれることがあるので、拔牙等の侵襲的歯科処置は、できるだけ避けてください
- 処方の変更や中止の要を処方医にご相談ください
- 異常を感じた場合すみやかに受診するようにご説明ください
- 口腔内を清潔に保つよう、ご指導ください

ノバルティスファーマ株式会社「アレディア・ゾメタ」

歯科・口腔外科の先生方へ

このカードは、ビスホスホネート製剤の投与を受けている患者さんに携帯していただいております。

- 顎骨壊死・顎骨髄炎があらわれることがあるので、拔牙等の侵襲的歯科処置はできるだけ避けてください。
- 患者さんに口腔内を清潔に保つようにご指導ください。

**私は、ビスホスホネート製剤
(アレディア・ゾメタ)
による治療を受けています。**

歯医者さんを受診する場合は、このカードを歯医者さんに必ずご提示ください。

アレディア・ゾメタの治療を受けている患者さんへ

●ご注意いただきたいこと

- 医師と相談の上、必要に応じて拔牙などの歯科治療は、本剤による治療を始める前に済ませてください。
- 拔牙などの治療はできるだけ受けないようにしてください。
- 歯科検診に行くなど口腔内を定期的にチェックしてください。
- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください。

アレディア・ゾメタの治療を開始した日 年 月 日

連絡先:

ノバルティスファーマ株式会社 ZOM197GN002

小野薬品工業株式会社「リカルボン錠」

リカルボン錠 を服用される患者さんへ

リカルボン錠服用中は、

- 歯科検診に行くなど口腔内を定期的にチェックしてください。
- 拔牙などの治療は、できるだけ受けないようにしてください。
- ブラッシングするなど、口腔内を清潔に保ってください。
- 歯科を受診する際は、リカルボン錠を服用中であることをお伝えください。

●医師と相談の上、必要に応じて拔牙等の歯科治療は服用を始める前に済ませてください。

リカルボン錠を服用中、拔牙等の歯科治療をした場合、まれに右記の症状がみられることがあります。異常を感じた時は、すみやかに主治医・歯科医師または薬剤師などにご相談ください。

あごや口の痛みやしびれ・だるさ、歯ぐきの腫れ、歯のぐらつきなど

ご自分の判断で、服用を中止しないようにしてください。
歯医者さんで診察を受ける場合はこのカードをご提示ください。

歯科・口腔外科の先生方へ

患者さんはビスホスホネート系薬剤(BP系薬剤)「リカルボン錠」を服用しています。顎骨壊死・顎骨髄炎があらわれることがあるので、拔牙等の侵襲的歯科処置はできるだけ避けてください。

服用開始日: 年 月 日

(中断、終了された方 年 月 日まで服用)

病医院・薬局名

監製販売
小野薬品工業株式会社 REC-P09

重要

当カードは、歯科・口腔外科の先生方にリカルボン錠の服用の情報を確実に伝えるためのものです。